

2008年 1 月 20 日実施

平成19年度（第38回）

情報処理検定試験
〈ビジネス情報部門〉
第1級 筆記試験問題

注意事項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は6ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は30分です。

【4】 次の各問いに答えなさい。

問1. 元金¥330,000を、1か月複利で5年間預けて¥360,000にする場合、必要な年利率を求める次の式の空欄にあてはまる式または数値を答えなさい。

=RATE(□, 0, -330000, 360000, 0)*12

問2. 東京都内のある会社では、次の顧客名簿からダイレクトメールを発送している。C列の「あて先」は、B列の「住所」から 東京都 を省略して作成する。C4に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をC500までコピーするものとする。

	A	B	C
1	顧客名簿		
2	顧客名	住所	あて先
3	相田 ○○	東京都新宿区○○	新宿区○○
4	井上 ○○	東京都港区○○	港区○○
5	内田 ○○	千葉県銚子市○○	千葉県銚子市○○
6	江藤 ○○	東京都渋谷区○○	渋谷区○○
7	Σ	Σ	Σ
500	渡辺 ○○	神奈川県横浜市○○	神奈川県横浜市○○

- ア. =IF(LEFT(B4, 3)="東京都", RIGHT(B4, 5), B4)
- イ. =IF(LEFT(B4, 3)="東京都", RIGHT(B4, LEN(B4)-3), B4)
- ウ. =IF(LEFT(B4, 3)="東京都", MID(B4, 3, LEN(B4)-3), B4)

問3. 次の表は、文化祭の模擬店で、純利益を求めるためのシミュレーション表である。D5に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をH9までコピーするものとする。なお、純利益は次の式で求めている。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	模擬店純利益計算表							
2	仕入単価	販売単価	販売数量					
3			100	150	200	250	300	
4	120	130	-4,000	-3,500	-3,000	-2,500	-2,000	
5		140	-3,000	-2,000	-1,000	0	1,000	
6	装飾経費	150	-2,000	-500	1,000	2,500	4,000	
7	5,000	160	-1,000	1,000	3,000	5,000	7,000	
8		170	0	2,500	5,000	7,500	10,000	
9								

「(販売単価 - 仕入単価) × 販売数量 - 装飾経費」

- ア. =(C\$5-\$A\$5)*D\$4-\$A\$8
- イ. =(\$C\$5-\$A\$5)*\$D4-\$A\$8
- ウ. =(\$C5-\$A\$5)*D\$4-\$A\$8

問4. ある会社では、社員が入社から20年を経過する月に旅行券をプレゼントしており、毎月1日に次の表を用いて、該当社員を検索している。D列の「該当者」は、該当する社員に ○ を表示する。D4に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。なお、A2には TODAY 関数が設定され、表示形式は日付(年月)にしている。

	A	B	C	D
1	2008年1月 分該当社員検索表			
2	社員コード	社員名	入社年月日	該当者
3	1001	山田 ○○	1968/4/2	
4	Σ	Σ	Σ	Σ
157	1154	青木 ○○	1987/12/1	
158	1155	田中 ○○	1988/1/21	○
159	1156	和田 ○○	1988/7/27	
Σ	Σ	Σ	Σ	Σ
303	1300	小川 ○○	2007/10/3	

- ア. =IF((YEAR(\$A\$2)-YEAR(C4))*12+MONTH(\$A\$2)-MONTH(C4)=240, "○", "")
- イ. =IF((YEAR(\$A\$2)-YEAR(C4))*12+MONTH(\$A\$2)+MONTH(C4)=240, "○", "")
- ウ. =IF((YEAR(\$A\$2)-YEAR(C4))*12-MONTH(\$A\$2)-MONTH(C4)=240, "○", "")

問5. 次の表とグラフは、ある地域で起床時間のアンケート調査を行い、時間帯ごとに集計したものである。グラフの説明について最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D	E	F
1	起床時間分布表					
2	起床時間帯	人数				
3	4時前	186				
4	4時台	1,369				
5	5時台	3,536				
6	6時台	5,721				
7	7時台	3,221				
8	8時台	1,236				
9	9時以降	52				
10						
11						
12						
13						

起床時間のヒストグラム

人数

起床時間帯

- ア. 起床時間帯と人数は、正の相関がある。
- イ. 4時台から6時台までは、Aグループに属している。
- ウ. 起床時間帯の人数分布は、6時台を中心として、ほぼ左右対称になっている。

- 【5】 次の表は、あるホテルチェーンのエリア・タイプ別の売上分析表である。処理条件にしたがって、各問いの答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。なお、問1については関数を答えなさい。

シート名「売上分析表」

	A	B	C	D
1	エリア・タイプ別売上分析表			
2	入力欄			
3	出力欄			
4	エリアコード	1		
5	タイプコード	S		
6				
7				
8	エリア・タイプ	関東シティ		
9	ホテル数		3	
10	総客室数		390	室
11				
12	1. 昨年度の状況			
13	客室稼働率		66.1%	
14	平均客室単価		17,636	円
15	改善点		客室稼働率・平均客室単価	
16				
17	2. 今年度の目標			
18	売上高		1,826,000,000	円
19	客室稼働率		72.7%	

シート名「タイプ表」

	A	B	C	D	E
1	タイプ表				
2	タイプコード	タイプ名	昨年度目標	今年度目標	
3			客室稼働率	平均客室単価	稼働率
4	R	リゾート	72.0%	25,000	112.5%
5	S	シティ	76.0%	20,000	110.0%
6	B	ビジネス	80.0%	10,000	115.0%

シート名「昨年度売上集計表」

	A	B	C	D	E
1	昨年度売上集計表				
2	ホテルコード	ホテル名	客室数	売上高	販売客室数
3	1S01	高崎	100	410,000,000	23,827
4	1S02	大宮	80	360,000,000	19,622
5	1S03	柏	210	890,000,000	50,677
6	1R04	横浜	650	3,890,000,000	191,320
7	2R01	東京	690	4,580,000,000	189,216
8	2S02	新宿	420	1,740,000,000	118,890
9	2B03	自由が丘	260	880,000,000	66,342
10	2B04	四谷	150	520,000,000	36,670
11	3S01	金沢	110	430,000,000	26,952
12	4R01	京都	450	2,250,000,000	117,540
13	4B02	泉北	130	460,000,000	28,786
14	4R03	大阪	530	3,630,000,000	136,010
15	5S01	岡山	130	550,000,000	32,281
16	5S02	米子	50	190,000,000	10,319

シート名「エリア表」

	A	B
1	エリア表	
2	エリアコード	エリア名
3	0	全国
4	1	関東
5	2	東京
6	3	北陸
7	4	関西
8	5	中国

処理条件

- シート名「売上分析表」のB5、B6に適切なデータを順に入力すると、条件にあった分析をすることができる。
- シート名「昨年度売上集計表」のA列の「ホテルコード」は、左端から1文字が「エリアコード」、2文字目が「タイプコード」を示している。
- シート名「売上分析表」は、次のように作成されている。
 - B5の「エリアコード」の入力欄は、分析するエリアの「エリアコード」を入力する。
 - B6の「タイプコード」の入力欄は、分析するタイプの「タイプコード」を入力する。
 - C8の「エリア・タイプ」は、B5の「エリアコード」をもとにシート名「エリア表」を参照した「エリア名」と、B6の「タイプコード」をもとにシート名「タイプ表」を参照した「タイプ名」を結合して表示する。ただし、B5のデータが「エリア表」にない場合、またはB6のデータが「タイプ表」にない場合は何も表示しない。
 - C9の「ホテル数」は、B5とB6のデータを結合した文字列を含むホテルコードごとに、シート名「昨年度売上集計表」のA列の「ホテルコード」の数を求める。ただし、B5が0の場合は、B6を含むすべてのホテル数を求める。また、C8が空欄の場合は何も表示しない。
 - C10の「総客室数」は、B5とB6のデータを結合した文字列を含むホテルコードごとに、シート名「昨年度売上集計表」のC列の「客室数」の合計を求める。ただし、B5が0の場合は、B6を含むすべてのホテルコードの「客室数」の合計を求める。また、C8が空欄の場合、またはC9が0の場合は何も表示しない。
 - C13の「客室稼働率」は、B5とB6のデータを結合した文字列を含むホテルコードごとに、シート名「昨年度売上集計表」のE列の「販売客室数」の合計を、C10の「総客室数」に365日に乗じたもので割って求める。
 - C14の「平均客室単価」は、B5とB6のデータを結合した文字列を含むホテルコードごとに、シート名「昨年度売上集計表」のD列の「売上高」の合計を、E列の「販売客室数」の合計で割って求める。
 - C15の「改善点」は、C13の「客室稼働率」とB6をもとにシート名「タイプ表」を参照した「客室稼働率」の比較と、C14の「平均客室単価」とB6をもとにシート名「タイプ表」を参照した「平均客室単価」の比較をし、次の表のように表示する。ただし、C8が空欄の場合、またはC9が0の場合は何も表示しない。

条件	改善点の表示
昨年度の客室稼働率、平均客室単価ともに目標以上	目標達成
昨年度の客室稼働率のみ目標以上	平均客室単価
昨年度の平均客室単価のみ目標以上	客室稼働率
昨年度の客室稼働率、平均客室単価ともに目標未満	客室稼働率・平均客室単価

- (9) C18の「売上高」は、B5とB6のデータを結合した文字列を含むホテルコードごとに、シート名「昨年度売上集計表」のD列の「売上高」の合計に、シート名「タイプ表」のE列の「今年度目標売上率」を乗じて求める。
- (10) C19の「客室稼働率」は、C18の「売上高」を、C10の「総客室数」とC14の「平均客室単価」と365日に乗じたもので割って求める。ただし、C8が空欄の場合、またはC9が0の場合は何も表示しない。

問1. シート名「売上分析表」のC8に設定する式の空欄にあてはまる適切な関数(論理)を答えなさい。

=IF(□□(B5<0, B5>5, AND(B6<>"R", B6<>"S", B6<>"B")), "",
VLOOKUP(B5, エリア表!A4:B9, 2, FALSE)&VLOOKUP(B6, タイプ表!A5:B7, 2, FALSE))

(注) FALSEは0でも可。

問2. シート名「売上分析表」のC10に設定する式の空欄にあてはまる適切なものを答えなさい。

=IF(OR(C8="", C9=0), "",
IF(B5=0, SUMIF(昨年度売上集計表!A5:A18, "?"&B6&"*", 昨年度売上集計表!C5:C18),
SUMIF(昨年度売上集計表!A5:A18, □□□□□□, 昨年度売上集計表!C5:C18)))

ア. B5&"?"

イ. B6&"?"

ウ. B5&B6&"?"

問3. シート名「売上分析表」のC15に設定する式の空欄(a)~(c)にあてはまる適切な組み合わせを答えなさい。

=IF(OR(C8="", C9=0), "",
IF(AND(C13>=VLOOKUP(B6, タイプ表!A5:D7, 3, FALSE), C14>=VLOOKUP(B6, タイプ表!A5:D7, 4, FALSE)), "目標達成",
IF(C13>=VLOOKUP(B6, タイプ表!A5:D7, 3, FALSE), □□□□□□(a),
IF(C14>=VLOOKUP(B6, タイプ表!A5:D7, 4, FALSE), □□□□□□(b), □□□□□□(c))))))

ア. (a) "平均客室単価"

(b) "客室稼働率"

(c) "客室稼働率・平均客室単価"

イ. (a) "客室稼働率"

(b) "平均客室単価"

(c) "客室稼働率・平均客室単価"

ウ. (a) "客室稼働率・平均客室単価"

(b) "平均客室単価"

(c) "客室稼働率"

問4. シート名「売上分析表」のC19に設定する式を答えなさい。

ア. =IF(OR(C8="", C9=0), "", C10*C14*365/C18)

イ. =IF(OR(C8="", C9=0), "", C18/(C10*C14*365))

ウ. =IF(OR(C8="", C9=0), C18/(C10*C14*365), "")

問5. シート名「売上分析表」に、次のようなデータを入力したとき、C18の「売上高」に表示される適切な数値を答えなさい。

	A	B	C	D
1				
2	エリア・タイプ別売上分析表			
3				
4		入力欄	出力欄	
5	エリアコード	2		ア. 598,000,000
6	タイプコード	B		イ. 1,012,000,000
7				ウ. 1,610,000,000
8	エリア・タイプ	東京ビジネス		
9	ホテル数	2		
10	総客室数	410	室	
11				
12	1. 昨年度の状況			
13	客室稼働率	68.8%		
14	平均客室単価	13,591	円	
15	改善点	客室稼働率		
16				
17	2. 今年度の目標			
18	売上高	※	円	
19	客室稼働率	79.2%		

(注) ※印は、値の表記を省略している。

- 【6】 ある文房具店では、会員向けに事務用消耗品の通信販売を行っている。受注から発送、請求までの一連の作業を、次のようなリレーショナル型データベースを利用して管理している。なお、会員の登録はすべて事前に済んでいる。次の各問いの答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

- 作業の流れ**
- ① 会員から注文の電話を受けると、注文内容を「受注表」に入力し、発送の準備をする。
 - ② 発送の際には、「会員表」で住所を検索し宅配便で発送する。
 - ③ 会員への商品代金の請求は、1か月分をまとめて行う。

会員表

会員コード	会員名	郵便番号	住所	電話番号
}	}	}	}	}
18055	岸野商店	191-0043	東京都日野市平山×-××-××	042-543-XXXX
18056	武田不動産	190-0022	東京都立川市錦町×-×-××	042-567-XXXX
18057	竹下洋品店	186-0014	東京都国立市石田××××	042-555-XXXX
}	}	}	}	}

商品表

商品コード	商品名	単価
}	}	}
P1021	コピー用紙 A4(500 枚)	500
P1022	コピー用紙 A4(500 枚入×5 冊)	2300
P1031	コピー用紙 A3(500 枚)	700
}	}	}
P2541	FAX用感熱記録用紙 A4(100m)	800
}	}	}

受注表

受付番号	受注日	会員コード	商品コード	受注数
}	}	}	}	}
1010	20080115	18055	P1021	2
1010	20080115	18055	P2541	1
1011	20080115	18056	P1022	5
1012	20080116	18057	P3701	2
1013	20080116	18068	K2001	3
1014	20080117	18101	K2001	2
1015	20080117	18055	P1021	2
}	}	}	}	}

(注) 受注表の「受注日」は、8けたの文字を用いる。例：'20080120' は2008年1月20日を表す。

- 問1. 受注表は1つのレコードを特定するために、2つ以上の項目による複合キーを用いる必要がある。受注表における複合キーとして、最も適切なものを答えなさい。ただし、同一の会員から1回の注文で複数種類の商品を受注することがある。なお、受付番号は1回の注文ごとにつけられる。

- ア. 受付番号 と 受注日
 イ. 会員コード と 商品コード
 ウ. 受付番号 と 商品コード

問2. 会員コード 18055 の電話番号を変更することになった。空欄(a), (b)にあてはまる適切な組み合わせを答えなさい。

(a) 会員表 (b) 電話番号 = '050-8765-XXXX' WHERE 会員コード = '18055'

- ア. (a) UPDATE (b) SET
 イ. (a) UPDATE (b) VALUES
 ウ. (a) INSERT (b) INTO

問3. 商品発送の準備にあたり、本日(2008年1月20日)受注分の商品名ごとの受注数の合計を求める場合、空欄にあてはまる適切なものを答えなさい。

商品名	発送数
コピー用紙 A4(500 枚)	7
コピー用紙 A4(500 枚入×5 冊)	28
FAX用感熱記録用紙 A4(100m)	2
}	}

SELECT 商品名, SUM(受注数) AS 発送数
 FROM 商品表, 受注表
 WHERE 商品表. 商品コード = 受注表. 商品コード

- ア. GROUP BY 商品名 HAVING 受注日 = '20080120'
 イ. AND 受注日 = '20080120' GROUP BY 商品名
 ウ. GROUP BY 受注表. 商品コード AND 受注日 = '20080120'

問4. 商品代金の請求にあたり、2007年12月(2007年12月1日 ~ 2007年12月31日)に注文のあった会員の抽出をする場合、次の(1), (2)に答えなさい。

(1) 下線部を変更した場合、同様の結果が得られる適切なものを答えなさい。

SELECT DISTINCT 会員表. 会員コード
 FROM 会員表, 受注表
 WHERE 会員表. 会員コード = 受注表. 会員コード
 AND 受注日 BETWEEN '20071201' AND '20071231'

- ア. 受注日 <= '20071201' AND 受注日 >= '20071231'
 イ. 受注日 LIKE '200712_'
 ウ. 受注日 >= '20071201' AND 受注日 <= '20071231'

(2) (1)のSQL文の最後に次の句を追加した場合、得られる結果の説明として適切なものを答えなさい。

ORDER BY 会員表. 会員コード ASC

- ア. 抽出された会員コードを、昇順に並べ替える。
 イ. 抽出された会員コードを、降順に並べ替える。
 ウ. 抽出された会員コードを、注文回数の降順に並べ替える。

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成19年度 (第38回) 情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 筆記
解 答 用 紙

【1】

1	2	3	4	5

【2】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【3】

1	2	3	4	5

【4】

問1	問2	問3	問4	問5

【5】

問1	問2	問3	問4	問5

【6】

問1	問2	問3	問4	
			(1)	(2)

試験場校名	受験番号

得点合計

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成19年度 (第38回) 情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 筆記
審査基準

【1】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	ウ	コ	キ	オ	ク	

【2】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各2点 計10点
	イ	ケ	サ	キ	コ	

【3】	1	2	3	4	5	各4点 計20点
	ア	イ	ウ	イ	ア	

【4】	問1	問2	問3	問4	問5	各4点 計20点
	5*12	イ	ウ	ア	ウ	

※「60」の数値も可。

【5】	問1	問2	問3	問4	問5	各4点 計20点
	OR	ウ	ア	イ	ウ	

※ 大文字, 小文字は問わない。

【6】	問1	問2	問3	問4		各4点 計20点
				(1)	(2)	
	ウ	ア	イ	ウ	ア	

試験場校名	受験番号

得点合計
100

2008年 1 月 20 日実施

平成19年度（第38回）

情報処理検定試験
〈ビジネス情報部門〉
第1級 実技試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 監督者の指示にしたがって、シート 4 の A 1 のセルに受験番号を入力してください。
3. 試験問題は 2 ページあります。
4. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
5. 制限時間は30分です。

あるDVDレンタル店では、店舗の改装工事をする事になった。改装後の棚割り（商品を置く棚数を決めること）は、12月のレンタル本数を種類ごとに集計したものをもとに割り振りをする事になり、12月の売上集計と棚割計画書を作成する事になった。処理条件にしたがって、シート1からシート4を作成しなさい。なお、各シートの※印の部分は資料をもとに入力し、※※印の部分は関数やアプリケーションソフトのデータ集計・分析機能などを利用して作成すること。

資料1 種類コード表

種類コード	種類名
Y	洋画
H	邦画
K	韓流
A	アニメ

資料3 売上日計表

月	日	売上コード	種類名	区分	本数
12	1	YN	洋画	新作	19
12	1	YF	洋画	旧作	21
12	1	HN	邦画	新作	7
12	1	HF	邦画	旧作	14
12	1	KN	韓流	新作	2
12	1	KF	韓流	旧作	3
{	}	{	}	}	}
12	31	AN	アニメ	新作	10
12	31	AF	アニメ	旧作	6

資料2 区分コード表

区分コード	区分	料金
N	新作	400
F	旧作	300

処理条件

- 表の形式および体裁は、次ページのシート1からシート4を参考にして設定する。
設定する書式：罫線，列幅，数値につける3けたごとのコンマ
- シート1は、次のように作成する。
「種類コード表」「区分コード表」の※印の部分は、資料1・2のデータを入力する。なお、種類コードおよび区分コードは半角英字である。
- シート2は、次のように作成する。
 - 検定試験開始前に提供されたデータを使用する。
 - D列の「種類名」の※※印の部分は、C列の「売上コード」の左端の1文字をもとに、シート1の「種類コード表」を参照して表示する。
 - E列の「区分」の※※印の部分は、C列の「売上コード」の右端の1文字をもとに、シート1の「区分コード表」を参照して表示する。
- シート3は集計作業用シートで、次のように作成する。
シート2のデータをアプリケーションソフトのデータ集計機能を利用して集計する。
- シート4は、次のように作成する。
 - 「1. レンタル料金表」の※印の部分は、資料2のデータを入力する。
 - 「2. レンタル本数集計表」は、シート3から必要な部分をコピーして、値を貼り付ける。
 - 「3. レンタル金額集計表」は、次のように作成する。
 - C列の「新作」およびD列の「旧作」は、「料金 × レンタル本数」の式で求める。
 - E列の「合計」は、C～D列の合計を求める。
 - 22行目の「合計」は、18～21行目の合計を求める。
 - 「4. 棚数計算表」は、次のように作成する。
 - C列の「本数」は、「2. レンタル本数集計表」のE列の「合計」を表示する。
 - D列の「棚数」は、初期値として1を入力しておく。
 - 30行目の「合計」は、「本数」および「棚数」の合計を求める。
 - E列の「平均」は、「本数 ÷ 棚数」の式で求める。ただし、小数第1位まで表示する。
 - E31の「最大と最小の差」は、E26～E29の「平均」の最大値と最小値の差を求める。ただし、小数第1位まで表示する。
 - D26～D29の「棚数」は、「棚数」が1以上の整数、D30の「合計」が30、E31の「最大と最小の差」が最小値になるようにアプリケーションソフトのデータ分析機能を利用して求める。
設定例 目的セル：E31 目標値：最小値 変化させるセル：D26～D29
制約条件：D26～D29は整数、D26～D29は1以上、D30は30
- グラフは、「2. レンタル本数集計表」と「3. レンタル金額集計表」から作成する。
 - グラフの※※印の部分は、表に入力された数値を表示する。
 - グラフの数値軸目盛は、最小値(0%)、最大値(100%)および間隔(25%)を設定する。
- シート4を報告書として印刷する。

	A	B
1		
2	種類コード表	
3	種類コード	種類名
4	Y	※
5	H	※
6	K	※
7	A	※
8		
9	区分コード表	
10	区分コード	区分
11	N	※
12	F	※

(シート 1)

	A	B	C	D	E	F
1						
2	売上日計表					
3	月	日	売上コード	種類名	区分	本数
4	12	1	YN	洋画	新作	19
5	12	1	YF	洋画	旧作	21
6	12	1	HN	邦画	新作	7
7	12	1	HF	邦画	旧作	14
8	12	1	KN	※※	※※	2
9	12	1	KF	※※	※※	3
10	12	31	AN	※※	※※	10
11	12	31	AF	※※	※※	6

(シート 2)

	A	B	C	D
1				
2	合計 / 本数 区分			
3	種類名	新作	旧作	総計
4	洋画	1105	※※	※※
5	邦画	※※	※※	※※
6	韓流	※※	※※	189
7	アニメ	※※	※※	※※
8	総計	※※	1867	※※

(シート 3)

	A	B	C	D	E
1					
2	1 2月の売上集計と棚割計画書				
3					
4	1. レンタル料金表				
5			新作	旧作	
6	料金		※	※	
7					
8	2. レンタル本数集計表				
9	種類名	新作	旧作	合計	
10	洋画	1,105	※※	※※	
11	邦画	※※	※※	※※	
12	韓流	※※	※※	189	
13	アニメ	※※	※※	※※	
14	合計	※※	1,867	※※	
15					
16	3. レンタル金額集計表				
17	種類名	新作	旧作	合計	
18	洋画	442,000	※※	※※	
19	邦画	※※	※※	※※	
20	韓流	※※	※※	65,300	
21	アニメ	※※	※※	※※	
22	合計	※※	560,100	※※	
23					
24	4. 棚数計算表				
25	種類名	本数	棚数	平均	
26	洋画	※※	※※	※※	
27	邦画	※※	※※	※※	
28	韓流	189	※※	※※	
29	アニメ	※※	※※	※※	
30	合計	※※	30	122.5	
31			最大と最小の差	※※	
32					
33	新作と旧作の比較				
34					
35					
36					
37	本数	※※	1,867		
38					
39	金額	※※	560,100		
40					
41					
42					
43					
44					
45					
46					
47					

(シート 4)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成19年度 (第38回) 情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 実技

審査基準

	A	B	C	D	E
1	1 2月の売上集計と棚割計画書				
2					
3					
4	1. レンタル料金表				
5		新作	旧作		
6	料金	400	300		
7					
8	2. レンタル本数集計表				
9	種類名	新作	旧作	合計	
10	洋画	1,105	1,038	2,143	
11	邦画	410	496	906	
12	韓流	86	103	189	
13	アニメ	208	230	438	
14	合計	1,809	1,867	3,676	
15					
16	3. レンタル金額集計表				
17	種類名	新作	旧作	合計	
18	洋画	442,000	311,400	753,400	
19	邦画	164,000	148,800	312,800	
20	韓流	34,400	30,900	65,300	
21	アニメ	83,200	69,000	152,200	
22	合計	723,600	560,100	1,283,700	
23					
24	4. 棚割計算表				
25	種類名	本数	棚数	平均	
26	洋画	2,143	17	126.1	
27	邦画	906	7	129.4	
28	韓流	189	2	94.5	
29	アニメ	438	4	109.5	
30	合計	3,676	30	122.5	
31			最大と最小の差	34.9	
32					
33	注1 新作と旧作の比較				
34					
35					
36	注2 本数				
37	注3 1,809 (新作) 1,867 (旧作)				
38					
39	注4				
40	金額				
41	723,600 (新作) 560,100 (旧作)				
42					
43	注5 0% 25% 50% 75% 100%				
44	注6 割合				
45	注7 ■ 新作 □ 旧作				
46					
47					

配点

①表の作成 () の箇所 5点×12箇所=60点

注 罫線は含まない。数値は、3けたごとにコンマをつけていること。

②罫線 4. 棚割計算表 5点×1箇所=5点

③グラフの作成 () の箇所 5点×7箇所=35点

注1 グラフタイトルは、文字および位置(グラフの上側)が正しく設定されていること。

注2 項目軸ラベルは、文字および位置(本数が上、金額が下)が正しく設定されていること。

注3 種類は、100%積み上げ横棒グラフで、値が正しくコンマつきで表示され、左右の重ね順が正しく設定されていること(上下の位置は問わない)。

注4 区分線が設定されていること。

注5 数値軸目盛は、最小値(0%)、最大値(100%)および間隔(25%)が正しく設定されていること。

注6 数値軸ラベルは、方向、文字および位置(グラフの下側)が正しく設定されていること。

注7 凡例は、位置(グラフの下側)および文字が正しく設定されていること(左右の順序は問わない)。

※ 審査にあたっては、「審査上の注意事項」をあわせて参照してください。